

静岡地区 LRT 導入検討協議会の まとめ

静岡市静岡地区 LRT 導入検討協議会

会長 久保田 尚 (埼玉大学大学院 教授)
瀧 義弘 (葵区自治会連合会 会長)
坪井 英明 (駿河区自治会連合会 会長)
山本 耕三 (静岡にも LRT を走らせる会 事務局長)
櫻井 透 (静岡商工会議所 副会頭)
小股芳太郎 (公益財団法人静岡市まちづくり公社 理事長) ……平成 25 年 3 月まで
松本 昌作 (“ “ 常務理事) ……平成 25 年 5 月から
村松幸次郎 (静岡市商店会連盟 会長)
北村 正敏 (静岡市中央商店街連合会 会長)
丹羽 亨 (静岡県百貨店協会 会長)
柳沢 透 (静岡鉄道株式会社 取締役鉄道部長) ……平成 25 年 3 月まで
仲田 健二 (“ “ 取締役鉄道部長) ……平成 25 年 5 月から
風間 直幸 (しずてつジャストライン株式会社 常務取締役) ……平成 25 年 3 月まで
勝山 和彦 (“ “ 取締役営業部長) ……平成 25 年 5 月から

静岡市静岡地区 LRT 導入検討協議会
平成 25 年 12 月 17 日 (火)

静岡市静岡地区LRT導入検討協議会のまとめ

【 基本的な考え方 】

- 静岡地区では、商業・業務機能等がコンパクトに集約され、賑わいのある中心市街地が形成されているが、超高齢社会の到来、長期的な経済の低迷、自動車依存によるCO₂の増加や、都市のコミュニティ機能の低下などの都市問題を抱えている。

これらに対応し、賑わいの維持、更なる発展のためには、長期の期間を要する取り組みとなるが、公共交通ネットワークを拡充し、これまでの「自動車中心のまちづくり」から「ひとを中心とするまちづくり」へと転換を図り、公共交通で中心市街地にアクセスしやすく、公共交通がひとの回遊を補助するまちづくりが必要である。

そのためには、歩行者主体のまちづくりや公共交通ネットワーク構築などに実績があるLRTを「都市の装置」として、導入することは有効である。

そこで、下記に示す事項に取り組む。

【静岡地区で取り組むべき事項】

- ◇公共交通ネットワークの役割分担の明確化
- ◇まちづくりのあり方の明確化
- ◇都心部への自動車交通量の適正化

【 まちづくりの方向性 】

- 静岡地区における「ひとを中心とするまちづくり」の今後の視点として、葵区では、ひとが回遊しやすく、歩いて楽しい魅力あるまちを創ること、駿河区では、中心市街地とのアクセス性を向上させることが重要である。

【公共交通ネットワークの役割分担の明確化】

- ◇バス交通計画を基に、公共交通ネットワークの役割分担を明確化

【まちづくりのあり方の明確化】

- ◇歩行者主体のまちづくりによる中心市街地の活性化
- ◇道路空間の利活用によるまちづくりの進展

【 葵区における今後の検討の進め方 】

- 葵区は、中心市街地における自動車交通量の適正化の検討を更に深度化させ、その上で、LRT導入ルートの再検討やひとを中心とする道路空間の利活用方策を検討する。

【都心部への自動車交通量の適正化】

- ◇周辺交通への影響の把握
- ◇環状道路等の整備促進、TDM、MM等による自動車交通の適切な分散
- ◇LRT導入ルートの再検討
- ◇地元、道路管理者、交通管理者、交通事業者との協議・調整
- ◇シンポジウムなど情報発信の継続実施

TDM：自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組み。

MM：一人一人のモビリティ（移動）が、社会にも個人にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

【 駿河区における今後の検討の進め方 】

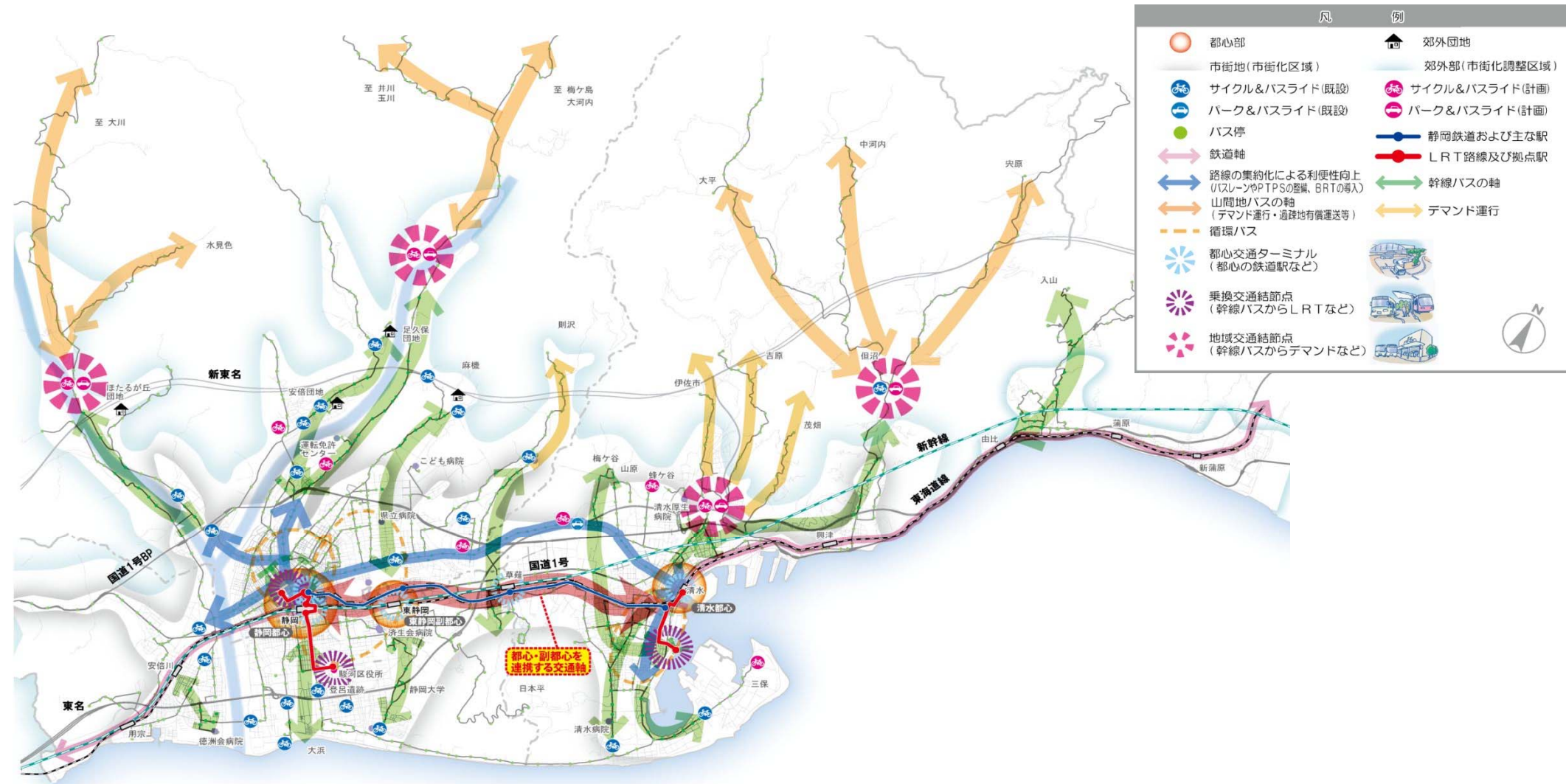
- 駿河区は、大谷・小鹿地区における都市的土地利用のまちづくりや東名新ICの開設、これらに合わせた静岡駅南口から静岡大学までを結ぶ幹線道路、静岡駅南口駅前広場の整備などが予定されていることから、静岡駅南口と静岡大学などを結ぶ公共交通を含め、公共交通ネットワーク全体としての望ましい交通システム、ルート等について、これらの整備スケジュールと併せて検討する。

【公共交通ネットワークの役割分担の明確化】

- ◇基盤整備の進捗や観光資源との連携を考慮した公共交通ネットワークの役割分担の明確化

公共交通ネットワークの役割分担の明確化

～バス交通計画を基に、公共交通ネットワークの役割分担を明確化～
 ～基盤整備の進捗や観光資源との連携を考慮した公共交通ネットワークの役割分担の明確化～



**まちの活性化やにぎわいの創出、今後の基盤整備も踏まえ、
公共交通ネットワークの役割分担を明確化**

まちづくりのあり方の明確化

静岡都心が目指す都市空間構造

～歩行者主体のまちづくりによる中心市街地の活性化～

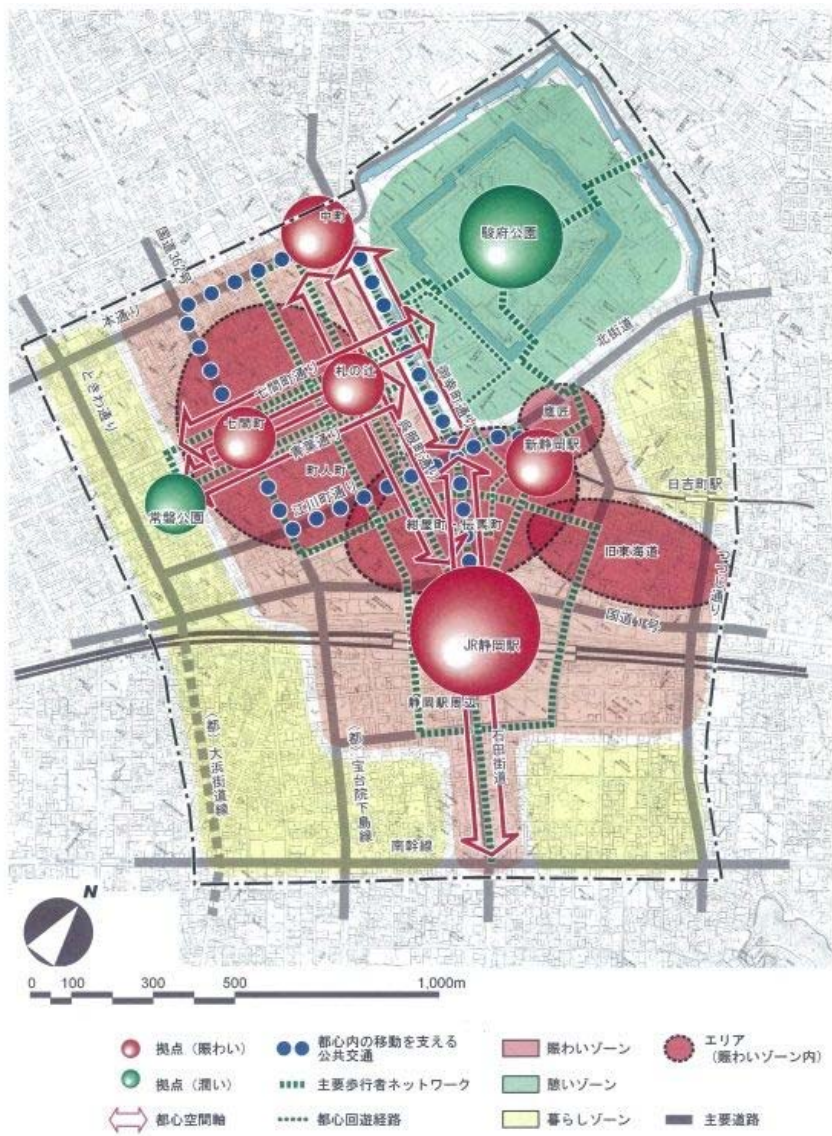


図2-31 静岡都心地区が目指す空間構造

歩行者主体のまちづくりのイメージ

～道路空間の利活用によるまちづくりの進展～



歩行者主体、自動車との共存等の今後のまちづくりのあり方を明確化

都心部への自動車交通量の適正化



～周辺交通への影響の把握～

～環状道路等の整備促進、TDM、MM 等による
自動車交通の適切な分散～

～LRT 導入ルートの見直し～



～地元、道路管理者、交通管理者、
交通事業者との協議・調整～

～シンポジウムなど情報発信の継続実施～

都心部への自動車交通量の適正化により 歩行者とLRTの良質な都市空間を創出

静岡市静岡地区LRT導入検討協議会の開催概要

第1回LRT導入検討協議会

日時：平成25年1月23日

【協議事項】静岡市の現状とLRT導入の必要性

- 静岡市のまちづくりと交通のありかた
- 静岡都心と清水都心のまちづくりを踏まえた、基幹となる公共交通の連携の必要性・考え方
- 静岡型コンパクトシティのイメージ
- 静岡都心における現状と課題から導くLRTの必要性
- 静岡都心におけるLRT導入のイメージ
- LRT導入効果（富山市の事例）

第3回LRT導入検討協議会

日時：平成25年5月7日

【協議事項】LRT導入に向けた施策の検討

- 「静岡型コンパクトシティ」の実現に向けた公共交通の整備及びまちづくりの推進
- 静岡市の目指す公共交通ネットワーク
- 各都心における導入の目的
- LRTシステムの選定理由
- 各ルートの概要について
- 目指すまちづくり及び課題解決に向けた施策（案）
- 市民・経済界・交通事業者・市が一体となった連携・協力
- ルートの施策イメージ

第2回LRT導入検討協議会

日時：平成25年3月18日

【協議事項】静岡地区におけるLRTのルート設定と活用による導入効果

- 静岡都心（葵・駿河ルート）におけるルート設定の考え方
- 設定ルートの活用による静岡都心で期待される効果、効果のイメージ
- 葵・駿河ルートにおける需要及び採算性
- 葵・駿河ルートにおける軌道整備の考え方
- 葵・駿河ルートの導入に向けた研究会で示された課題解決の方向性
- 静岡市におけるLRT導入の効果

第4回LRT導入検討協議会

日時：平成25年7月22日

【協議事項】LRT導入に向けた整備効果と実現性について

- 事業の必要性（導入の必要性、整備効果）
- 事業の現実性（ルート、施設整備、事業費、需要、事業形態、採算性、交通への影響）

第5回LRT導入検討協議会

日時：平成25年10月11日

【協議事項】LRT導入検討協議会のまとめ